

## 令和3年度病床機能報告と定量的基準との照合結果 (令和3年7月1日時点)

定量的基準と異なる報告をされた医療機関とその理由(下記)に対して、御意見を申し上げます。

### 1. 入院基本料・特定入院料による分類において定量的基準と異なる

医療機関名	病棟名	病床数	報告された医療機能	入院基本料	定量的基準に基づく医療機能	異なる報告をされた理由 (医療機関からの報告内容)
春陽会中央病院	障害病棟	60床	回復期機能	障害者施設等10対1入院基本料	慢性期機能	定量的基準に示されている分類通りで仕分けしないといけないのであれば、慢性期機能になる。当施設の障害者施設等10対1入院基本料を算定している病棟は、一般病棟で概ね術後のリハビリが主体であり、急性期病棟で対応が出来ない時は当然手術対応する。 平均在院日数は、一般病棟14～17日、障害者施設等30日前後で病床を回転させ、社会復帰・在宅復帰を目標としている。機能的には、地域包括ケアと回復期リハビリテーションを兼ねているため、あくまでも分類は治療実態に沿って、定量的基準を参考として報告している。
検見崎クリニック (旧検見崎病院)	病棟	46床	急性期機能	一般病棟 特別入院基本料	回復期機能	疾患分類上、急性疾患の患者の割合が多い。

※検見崎病院は27床を廃止し、R4.1.1に検見崎クリニック(19床の有床診療所)となった。

### 2. 「重症度、医療・看護必要度」による分類が定量的基準と異なる

医療機関名	病棟名	病床数	報告された医療機能	入院基本料	定量的基準に基づく医療機能	異なる報告をされた理由 (医療機関からの報告内容)
恒心会おぐら病院	4階病棟	38床	急性期機能	急性期一般入院料1	高度急性期機能	高度急性期の特定入院料の施設基準を満たせないため、急性期機能で報告した。

### 3. 「急性期」と報告されているが、急性期に関連する医療行為を提供していない

医療機関名	病床数	報告された医療機能	定量的基準に基づく医療機能	異なる報告をされた理由 (医療機関からの報告内容)
井上眼科	4床	急性期機能	回復期機能又は慢性期機能	現在、日帰り手術がほとんどで入院する患者がいない状態だが、今後入院を必要とする患者もいるかもしれないので急性期機能と報告している。

令和3年度病床機能報告と定量的基準との照合結果と、各医療機関から示された異なる報告となった理由  
に対して御意見ございましたら、別紙回答票に御記入願います。